

「変革を成し遂げるために」

初当選から約5年間、新米国会議員としてこれ程多くの仕事が出来るとは正直夢にも思っていませんでした。議員立法を2本「自転車活用推進法」「ホームレス自立支援法」を成立させ、高レベル放射性廃棄物最終処分場の建設に向けた道筋を定め、着実に前進させつつあり（今年7月には科学的特性マップ公表）、創設した「多様な働き方を支援する勉強会」の提言から、「政治主導で挑む労働の構造改革」（日経B P刊・穴見陽一著）を出版すると共に、稲田朋美政調会長（当時）を通じ、「働き方改革」として政府の主要政策に取り上げていただき、担当大臣までつくっていただきました。また、創設した「生活困窮者を支援する勉強会」の成果として、「一億総活躍社会」という政府主要政策の中核に提言を採用し

ていただき、今年成立した「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」の原点となる基本理念と、「わが国の積極性と制度横断的対応理念を勉強会から生み出すことが出来ました。細かい事まで数え上げれば紙面が足りず、また皆さん退屈でしよからこれ以上は申し上げませんが、これほど多くの重要な仕事を国政に残す事が出来たことは、大変な驚きですし、この場に立たせていただいた皆様に深謝いたします。

またこの一年、自民党政調会長補佐、働き方改革推進特命委員会事務局次長、一億総活躍推進本部事務局次長、労政局、国際局、女性局、新聞出版局の各次長等に、重要な仕事をさせていた

だきました。この秋からは新たに一億総活躍推進本部の次長から事務局長（前任は片山さつき参議）に昇任させていただき、党から政府へ要求する一億総活躍政策の総取り纏めをさせていたいただくことになりました。また日本の精神科医療が、患者数が激増しているにも関わらず、完治者が殆ど出てこないこと、患者が国際的にも異常な薬漬け状態に置かれており、根本治療が為されていないことを問う為の勉強会を創設し、今年中に提言する準備をしてきました。働き方改革の為の労働基準法改正法案も含め、これらは今回の解散でストップが掛かってしまいました。大変残念ではありません。

国会議員の仕事は限られた任期の中で自己完結するしかありません。選挙の後、

国会に戻って仕事が続けられるかは全く保証がありません。しかし、大きな仕事には時間がかかります。国会議員であり続けなければ、大きな変革を成し遂げることは出来ません。たとえ大臣に成るうとも、総理に成るうとも、準備の出来ない仕事は出来ません。まな板の上の魚はさばけても、釣れない魚はさばけないのです。私が魚（政策や法案素材）を釣って（作って）くれば、時の総理や大臣がそれをさばいてくれます。板前に立たせて貰えない下っ端でも、魚は釣れます。釣らなければならぬ魚はいっぱいいます。今回の闘いもなんとか這い上がって、仕事を続けさせていただければと願っています。

Facebookでも活動報告を行っています。〈Facebookアドレス〉<https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください！お待ちしております。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会
事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

